

クリーンパーク・臨海『臨海工場』 見学コースMAP

見学するときのきまり

- その1 かならず2階『臨海リサイクルプラザ』受付で受付をして、名札を胸につけてね。
- その2 見学場所からはなれて、かつてにとびらを開けたりしないでね。
- その3 食べたり飲んだり、ごみをすてたりしないでね。
- その4 見学がおわったら、名札を受付にかえてね。
- その5 ほかの人のめいわくにならないようにしようね。走ったり、さわいだりしないでね。

8. 灰ピット・灰クレーン

ごみは燃やすと20分の1の容積になるんだ。ごみを燃やしたあとの灰は、ここに集められてうめ立て場まで運ばれるんだ。ごみは燃やしてもなくなってしまわないわけじゃないんだね。ごみをへらさないと、うめ立てる場所がなくなっちゃうよ。



次はエレベーターで3階へお入りよう。

5. 展望ホール

人工衛星からさつえいした福岡市の写真があるよ。ごみを処理するところがどこにあるか、空の上からさがしてみよう。



6. 焼却炉

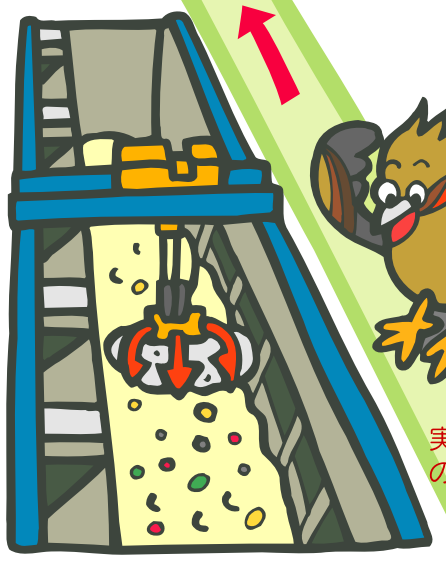
850℃以上のものすごい温度で、有害なダイオキシンもいちころさ。ごみといっしょにおいも燃やしているんだって。1日に300トンのごみを燃やすことができる炉が3つあるよ。ごみは4~5時間で完全に灰になっちゃうよ。

実物大のストーカの展示があるよ。

7. ボイラ

ごみを燃やすときの熱で発電もしているんだよ。できた電気は、工場内やタラソ福岡[※]で使うほか、電力会社にも売っているんだ。最大で25,000キロワット、約67,000世帯で使う量の電気ができるんだって。

※タラソ福岡 臨海工場で作った電気を使ってあたためた海水の歩行用プールなどで健康づくりをする施設



実物大のごみクレーンのもけいがあるよ。

4. ごみピット・ごみクレーン

運ばれてきたごみは、まずここにはいるんだ。ピットの底までは約40メートル、13階のビルの高さくらいあるんだ。たくわえられるごみの量は約2,700トンで、パッカー車約1,200台分。大きな入れ物だけど、福岡市からでるごみをぜんぶここにあつめたら、たったの2日ですばいになっちゃうんだって。びっくりだね。



2. プラットホーム

夜中にみんなの家やお店から出たごみが、パッカー車で運ばれてくる場所だよ。1日約300台(700トン)もやってくるんだ。

9. 中央制御室

工場の機械は、ここですべて24時間休みなくコントロールされているんだ。



クイズコーナーでは、ごみ処理についての勉強が楽しくできるよ。

工場に使っている材料や計器の展示コーナー

1. 工場のしくみ

ボタンをおしてね。これから見学する工場ぜんたいのしくみについて、説明するよ。



世界の清掃車イロイロ大集合の写真があるよ

3. パッカー車

ほんもののパッカー車(2トン車)もあるよ。運ばれてくるようすが、ビデオで見られるよ。

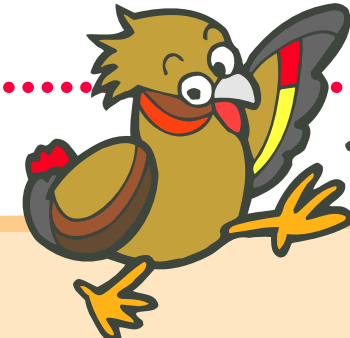


ここは計量棟。パッカー車は、ここでつんできたごみの重さをはかるんだ。



このわたりろうかの下をパッカー車がとるんだ。

ごみ処理の流れを見てみよう！番号の11頁に進んでね。



3階入り口

しき地の広さ：約97,700平方メートル(おおむね一辺が310メートルの正方形)
工場の建設費：約478億円(土地の費用をのぞく)

クリーンパーク臨海には廃棄物試験研究センターもあるんだよ。センターでは、環境を守るため、ごみや排ガスの検査のほかに、灰などのリサイクルの研究もしてるんだ。